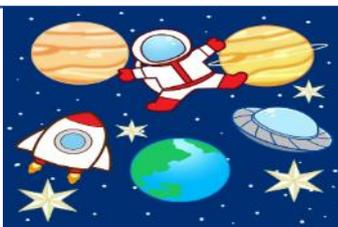




つ く る

1年2組学級通信 10月23日 第17号



探究学習について

2クォーターの末には、探究学習の発表会にご参加いただきありがとうございました。これまでの学習の中で、自らテーマを設定し、情報収集、整理分析までをしてきました。初めての探究学習ということもあり、中々テーマが決まらない子、情報を集められない子、情報の整理の仕方で悩んだ子、など様々な段階で悩みながらも発表に向けて準備をしてきました。当日は学習したことを活かして堂々と発表することができました。また友達の質問に対して答えたり、友達の発表に興味を持って質問したりすることもできました。ご家庭でもご協力いただきありがとうございました。

3クォーターは新しいテーマを設定し、探究学習を進めています。またご協力いただくことがあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

プログラミングを使って自動水やり機を作りました♪

プロジェクトの学習で、植物の児童水やり機を作りました。最初はプログラミング（マイクロビット）に苦手意識を持っていた子たちも、やり方がわかると意欲的になる子が多くみられました。一通り学習を終えた段階で、以前投げかけた「プログラミングとはどんなものか」という問いを再度投げかけてみると、「自分たちの生活に欠かせない物。理由はプログラミングをすれば、自動でやってくれて自分たちの生活が便利になるから。」「正確にやってくれるもの。手作りのものだと正確にやるのは難しいものもあるから」などと答えていました。各々に学習していく中で、プログラミングというものについて考えを深めていった様子でした。

またプロジェクトの学習が終わってからもプログラミングを使ってゲームを作ってくる子が複数いました。これまでゲームは作られた物をするばかりでしたが、自分たちで作れるということがわかってからは、作る楽

秋探しをしました

生活科の学習の時間に学校の近くにある釜神社で秋探しをしました。5月頃にフィールドワークとして行ったため、その頃と比べ、どこが違うかという比較する視点をもって、秋の物を探しに行きました。子どもたちは、葉っぱの増減や、色、その他秋に生える植物などに着目していました。「先生、秋の物見つけたよ!」と言って、柿やススキなどを見せてくれることが増えました。



「対話を通して」

1クォーターから子どもたちと対話することを心がけてきました。3クォーターもあいている時間を見つげ
できる限り、子どもと2人で話す時間を設けるようにしています。そのなかで普段はなかなか言えない、子
どもたちの生活面や学習面の悩みを聞くようにしています。また悩みだけでなく「ぼく、私は、こんなことが
したいんだ。こんな思いを持っているんだ。」といった一人ひとりの考えについてもなるべく聞き、学級の活
動に取り入れるようにしています。これからも子どもたち一人ひとりに寄り添いながら学級を作っていきたい
と思います。